

日本山岳会「山の日記念」 千葉の山 撮影記

記 山本 哲夫

使用カメラとレンズ NikonD800E、D810 レンズ Macro60mm f2.8、24-120mm f4、80-400mm f3.5-f5.6、200-500mm f5.6

千葉の山解説と一部分重複します。

1. 鋸山 2014年4月27日 晴れ風が強い 自転車で159km。

自宅発9時30、日本寺駐車場14時10分 駐車場発15時15分 帰宅19時。

日本寺撮影が目的。往路南風のため向かい風。長いトンネル先で日本寺に入り、急坂を登り駐車場へ。600円を払い入山。お守りが付くと嬉しいが。階段を上って大仏に。30年前、上の岩場で練習していて中止を要請されてしまった。展望台から1500羅漢の写真撮りながら日本寺に。日本寺の本堂は登山者のタバコの火の不始末で焼失し現在も修理中。駐車場へ。急坂を下る。あっという間に国道に。明鐘トンネル内でワゴン車が幅寄せしてきた。金谷から追い風を背に受けて帰宅。自転車で背中カメラ2kgは重かった。146枚撮影。

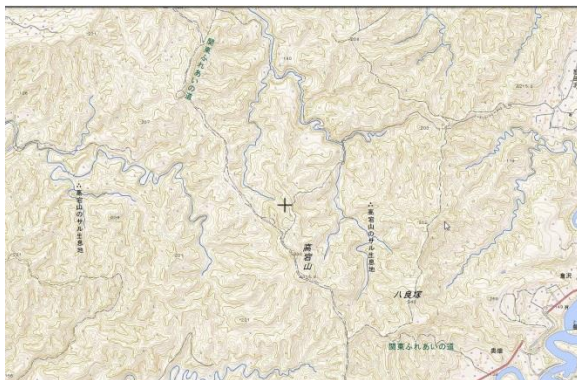


1500 羅漢

2. 高宕山 330m 石射太郎ルート 2015年3月22日 天候は晴れ 自転車で141km  
自宅発8:20 登山口12:20 高宕山頂13:54 登山口15:15 帰着19:00

木更津手前から向風。上畑の石射太郎の看板で左折。登山口、自転車を看板にロック。階段の登山路、関東ふれあい道として整備されている。程なく広場の石射太郎。少し登って尾根伝いに東に。苔が日光で輝いていた。時々岩の路が現れる。スミレの花や小さい山

桜が咲いていた。階段と上部に高岩観音。狛犬の顔は変形した仁王様。岩の下に三重の石塔、観音堂。不便な場所に作られていた。岩穴の通路に天空の岩と書かれていた。不動明王の看板にしたがい下って大きな岩の下に。小さな不動明王が安置されていた。ここを登り、数 m の岩場の上が狭い高岩山山頂。見晴らしが良い、足元はスッパリと切れ落ちていた。奥畑から登ってきた市原市山岳協会の人と話す。ここは何度も足慣らしに訪れているらしい。去年は雨の槍ヶ岳に四日間いたという。午後 2 時過ぎに下山。高岩山は昔の信仰の山で変化に富んでいた。307 枚撮影。



地図



登山路

### 3. 鋸山 車力道 2015年9月5日 天候は晴れ 自転車 152km

自宅発 9 時 30 分 浜金谷登山口 13 時 14 分 山頂 14 時 17 分 登山口 15 時 30 分  
帰着 19 時 20 分 152km

石切り場を主に撮影。 アジサイ似の花が咲いていた。 266 枚撮影

### 4. 高岩山 330m 八良塚 342m 奥畑ルート 2015年11月1日 天候晴れ 自転車 151km 自宅発 9 時 30 分 奥畑登山口 13 時 15 分 八良塚 13 時 48 分 高岩山山頂 14 時 34 分 登山口 15 時 16 分 帰着 19 時 7 分

登山口から整備された路が続き、階段もしっかりしていた。45年前は、階段は殆どなかった。分岐から、わずかに急登すると八良塚山頂。下る途中で休んでいた二人連れと話した。高岩山はどうでしたかと聞くと、見晴が素晴らしいと。これから、高岩山に行きますという「暗くなってしまいそうですね」。直ぐに階段を下り、分岐に戻った。三郡山の分岐だ。両脇が狭く尾根や巻き道が続く。山頂は近いが見えない。ロープが張ってあった。標識通りに進むと下って行く。高岩観音からのルートに合流、階段を越えて右側に出ると開けた山頂の下だ。階段を下って来る人が1人。秋の山頂は澄み渡っていた。写真を撮って急いで下る。直接東に下るルートは、標識が外されていた。良く見るとロープが張ってある。踏み跡とロープの急斜面で、今では推奨されない登山路だ。二人連れを追い越し登山口にもどった。撮影枚数 122 枚。



房総の秋 鋸山が遠くに

5. 御殿山、大日山、富山 2016年1月2日 車

自宅発 6時30分 駐車場発 8時 御殿山山頂 9時--10時25分 大日山 11時13分  
御殿山山頂 12時3分 駐車場 12時30分 富山駐車場 13時7分 南峰 14時12分 北峰  
14時27分 駐車場 15時30分 帰着 18時 天候 晴れ 昼頃少し曇り

写真の撮れる場所は、大黒様、御殿山山頂、大日手前の崩れた所、大日山頂と限られている。時々、木々の合間から撮るしかない。大日は、少し遠かった。帰路は再び御殿山山頂を踏んで下った。大照寺新しくなった門を見学、彫刻が良かった。富山駐車場に向かった。富山では、遅い紅葉と水仙の花を撮影、北峰展望台山頂からは鋸山方向と館山方向、海の上に富士山。手前を入れると雑木が入ってしまう。次回は、朝か夕に挑戦。カメラ電池が切れた。撮影枚数 432 枚。



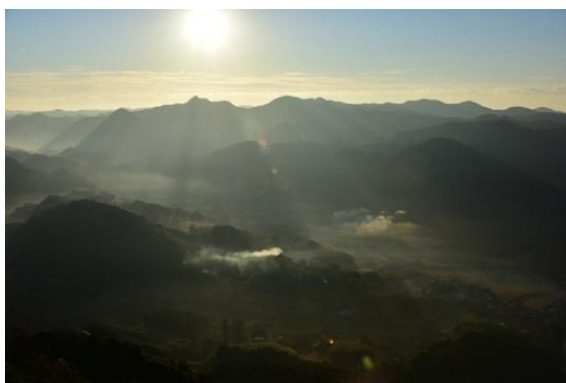
大黒様展望台

6. 伊予ヶ岳 336.6m、津森山 336m、人骨山 292.6m 2016年1月10日

自宅発 5時4分 神社駐車場 6時24分 開けた梅畑 6時42分-49分 展望台奥 7時  
5分 -7時28分 伊予ヶ岳山頂 7時35分 南峰 7時52分 北峰 8時8分-8時47分 駐  
車場 9時18分 大崩奥 10時26分 津森山 11時3分 人骨登山口 11時45分 人骨山山  
頂 12時2分 大崩奥 12時45分 帰着 14時30分

伊予ヶ岳で房総の日の出撮影が目的。日の出時刻に遅いが出発。平久里の近で伊予ヶ岳がシルエットに浮かんでいた。誰もいない駐車場、急いで歩く。15分程登り畑跡の開けた場所で御殿山を33枚撮影した。赤色が薄くなったので展望台に急いだ。汗が飛び出す。15分程で展望台。太陽が輝き始めていた。展望台の奥に進み、急いで三脚をセット。標準レンズから80-400mmに交換。136枚撮影。山頂を目指す。ロープのある岩場は思ったより長く感じた。8分で山頂に。気温が前日より2度高いので少し霞がかかった富士山が見えた。撮影後津森山に移動。

津森山と人骨山 大崩奥の空き地に駐車。徒歩で津森山登山口に。30分で山頂へ。富士山が見えるという看板に従うと樹林の上に富士山が見えた。人骨山へ向かい。20分程で山頂に、カヤトの山頂、見通しが良い。撮影枚数684枚。



房総の朝 御殿山

7. 伊予ヶ岳 336.6m 目的は夕暮れの富士山撮影 2016年1月16日  
自宅発 13時50分 天神郷神社駐車場 15時35分 山頂 16時15分 駐車場 17時20分

千葉は快晴、雲なし、気温7、8度で冷たい、市原では雲がうっすらと、君津に近づくと雲が増えた。長狭街道で、雲も多くなった。房総特有な天候だ。気温10度。時々太陽が雲に隠れた。道路入口から撮影。大きな楠の木、古い木造建物の資料館、伊予ヶ岳に纏わる看板。神社に戻り狛犬と伊予ヶ岳を収めた。15時35分。ゆっくり登る。山頂16時15分。南峰で夕暮れの山頂と富士山を撮影。富士山は見えない。夕日が沈む間に急いで下山。途中で登ってくる人が、日没撮影に来たという。下りで赤い照り返しが見えた。195枚撮影。



夕暮れの富山

8. 富山と伊予ヶ岳 目的は夕暮れの富士山撮影 2016年2月11日

自宅発 7時20分 富山駐車場 8時30分 山頂 10時8分 11時30分 水車小屋 12時28分 富山山頂 13時36分 駐車場 14時12分 平久里駐車場 15時31分 伊予ヶ岳山頂 16時31分から 18時6分 駐車場 18時35分 帰着 20時30分

気象衛星画像で雲が少なく絶好のチャンス。外気温 3 度。木更津まで来ると雲が少し増えた。富山で、少し晴れていた。ローバ製の靴で 400m 歩くと底が壊れてしまい、車に戻り別の靴に履き替えた。富山展望台で富士山が霞んで見えた。夕方まで時間があり、下の水車小屋まで足を延ばす。再度登って来ると富士山周辺に雲が減っていた。夕方シルエットを確信。伏せ姫の洞窟で写真を撮り、駐車場に。次第に晴れた。伊予ヶ岳に向かった。山頂に着くと誰もいない。北峰に行った。南峰に人が立った光景を期待していたら、1人登ってきた。急いで、南峰の頭が空に出るところまで下って撮影。そして南峰へ。「富士山は見えないですねと」。夕日になるとシルエットで見えてくると思います。再び独りになり、80-400mm レンズに交換して待つ。富山の双耳峰と天城山の山頂に太陽が沈んだ。富士山が見え始めた。水蒸気が少し多い、空は青くならない。町の明かりが灯る。ワイド側、ロング側と撮ったがワイド側が良かった。最後の夜景は、24-120mm レンズに交換して真下から館山の町明かりを入れて 30 秒間露出で撮影を切り上げた。ヘッドランプの灯りを頼りに、冷たくなった手でロープをたよりに慎重に下った。509 枚撮影。





伊予ヶ岳からの夕暮れの富士山

※ 2月以降3月と週末富士山が見えるような天候が無く、撮影のチャンスが一度もなかった。

9. 大日山 2016.4.10 天候 晴れ

山頂の山桜が撮影目的。滝も撮影。344枚撮影。



大日山の山桜

10. 花嫁街道烏場山 266m 2016年4月16日(土) 天候 曇りからほんの小雨 晴れ  
支部山行として6名で 和田浦駅 10時53分 登山口 11時30分 広場で食事 13時11分-14時5分 烏場山 14時20分 登山口 16時 和田浦駅 16時22分

ポピーが咲く和田浦駅を起点に花嫁街道登山口まで40分。第三展望台で山桜が咲き、足元にスマレやリンドウに似た小さな花が咲いていた。14時20分烏場山山頂266m。木々の合間からの展望。下りで、大木がしっかりと根を張っていた。黒滝で三脚を使いミラーアップにセットし、スローシャッターで滝の水流を流して撮影した。395枚撮影。



新緑の烏場山

11. 鋸山 2016年6月18日(土) 晴れ 電車

稲毛海岸駅 7時36分 蘇我駅 7時54分 発館山行 浜金谷 9時21分 帰り 14時53分 蘇我 16時05分 帰着 16時30分

土曜日に電車で鋸山に出かけた。この時期に咲く花と垂壁。レンズは標準 24-120mm にマクロ 60mm、80-400mm、200-500mm。加えて2Kgの三脚とずっしりと重くなった。紫陽花が少なかった。小さい花を何枚も撮影した。午後になったら沢山の人々が登ってきた。野鳥は、鶯が声だけで姿みせず、小さな鳥がいたが姿みせず。山頂から東に行ったが途中から踏み跡が不明瞭になり引き返した。撮影枚数304枚。



思い出の残置捨て縄